

第472回今別町議会定例会会議録（第2号）

第4日（3月7日）

出席議員 7名

1番	本間 闘士 君	2番	太田 英一 君
3番	田中 哲也 君	4番	小倉 潤二 君
5番	成田 精市 君	6番	本郷 良克 君
7番	福士 和比古 君		

欠席議員 なし

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長	中嶋 久彰 君
教 育 長	勝野 義彦 君
会 計 管 理 者 税 務 会 計 課 長	川村 一樹 君
参 事	岩 渕 健 君
総務企画課長	太田 和泉 君
町民福祉課長	山崎 真直 君
産業建設課長	平山 寛哉 君
教 育 課 長	佐渡 慶剛 君
総務企画課長補佐	遠田 剛洋 君
総務企画課長補佐	阿部 真紀子 君
総務企画課長補佐	相内 譲 君
産業建設課長補佐	田中 譲 君
産業建設課長補佐	阿部 聖 君
代表監査委員	田中 裕文 君

職務のため議場に参加した事務局職員の職氏名

事 務 局 長
事 務 補 助 員

相 内 一 君
平 山 良 子 君

議事日程

- 第 1 会期の決定
- 第 2 会議録署名議員の指名
- 第 3 議案の一括上程（提案理由の説明）
- 第 4 一般質問

午前10時00分 開会

○議長（本郷良克君） おはようございます。

本会議に入る前に、傍聴される方に連絡事項があります。

傍聴人は次のことをお守りください。私語など会議の妨害になることは慎んでください。写真撮影、音声の録音はしないでください。携帯電話の電源はお切りください。その他、会議の妨害になるような行為をした場合は、今別町議会傍聴人規則第11条の規定により退場を命ずることがありますのでご了承ください。

これで連絡事項を終わります。

ただいまの出席議員は7名です。よって、会議を再開いたします。

日程第1 一般質問

○議長（本郷良克君） 日程に従いまして、一般質問に入ります。

通告の受付順に質問を許します。

通告及び答弁は、一問一答で行い、できる限り簡潔明瞭に願います。

なお、質問については、同一議題について質問回数の制限をなくし、本人の持ち時間を2時間以内としております。また、関連質問並びに通告以外の質問は認めませんので、ご了承願います。

2番太田英一議員に質問を許します。太田議員。

○2番（太田英一君） おはようございます。

2番太田英一です。まず、先日の2月23日の襲月地区火災でお亡くなりになられた方、それから被災された方々にお悔やみとお見舞いを申し上げます。

それでは、私から大きく分けて2点。第1点として、新年度の行事（祭）などの開催計画についてですが、現在のコロナ感染症拡大の中で、町内の各種行事等の開催がほとんどなされておられません。これら関係者の生活も困窮しているものと推察されます。そのような状況下で、イベント関係者等に何らかの活動機会を創設してはいただけないものかと、ここで質問をします。これらの代替イベントといいましょうか、そういうものを町のほうとか、各種団体のほうから早期に発信し、次の行事というか、そういうものに生かしていただけないものかと考えています。また、コロナ禍の状況で関係者の皆さんには、給付金などの支給である程度の支援はなされておりますけれども、今後その支援も継続できるものかどうか、そういうものは定かでない状況下でありますので、町と

して行事の開催を分散型で開催するとか、小規模で回数を増やすとかという何らかの方策があったら、そういう点をお伺いしたいと思います。

それから2点目に、新たな地場産業の育成についてでありますけれども、まず、漁業関係で申し上げますと、新たな栽培事業の模索などをしていただいていると思うんですけれども、町からの情報発信や、関係者などとの意見交換を活発にして、当町に適した栽培漁業を構築できないものか、お伺いしたいと思います。その中で様々な障害や問題はありますけれども、ぜひ漁業だけではなく、これから質問する全体で考えていただきたいと思います。

小さい2番目として、畜産業ではブランド化が進んでいる中、生産量の拡大は図られているのかお伺いしたいと思います。畜産に関しては、ある程度のブランド化が進んでいると思いますが、畜産関係者の生産者もなかなか増えていかない状況にあります。新たな組織化や分業制の構築をいま一度取り組む時期ではないかと考えます。

3つ目として、農業については、稲作以外の新規作物の生産基盤の拡充は進んでいるのか、高収益野菜などの作付に新規参入制度の構築やPRなど、行政からの発信を進めながら、交流人口の拡大や移住、定住につなげられないものかお伺いします。

最後に、林業の生産性や継続事業の拡大は図られているのか、放置林の有効活用で林業の活性化を図り、バイオマスなどに生かしていけないものか、各種産業の連携、好循環を確立させて、各種産業の新規従事者の拡大につなげていただきたいと思います。

行政には、数多くの問題とか、負担とかかかるとは思いますけれども、今別町の将来に不可欠な問題だと思いますので、これらについて答弁、よろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（中嶋久彰君） おはようございます。2番太田英一議員のご質問にお答えをいたします。

議員からは、大きく2点の質問が出されております。

1として、新年度の行事、祭りの開催計画について、2として、新たな地場産業の育成についてというご質問でございますが、担当課より答弁させていただきますので、よろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 総務課長。

○総務企画課長（太田和泉君） おはようございます。総務企画の太田です。よろしくお願いします。

それでは、2番太田議員からのご質問、新年度の行事、祭り開催計画について。

要旨といたしましてコロナ感染症拡大の中、町内の各種行事等の開催予定について情報発信を早めにすることは検討しているのかということに対して答弁いたします。

来年度の各種行事等の開催予定については、4月7日に年間行事予定を毎戸配布する予定でございます。また、当月及び翌月の行事等については、広報紙裏表紙のイマダスに掲載しているところであります。これまでもコロナの感染状況を鑑み、中止、延期する場合は広報紙のお知らせコーナーやイマダスのコーナー、また毎戸チラシで町民に周知しているところでございます。

議員からのご質問の計画についてであります、今年度配布します年間行事予定には、状況によって中心または延期する旨を記載し、その後もこれまでどおり広報紙や毎戸チラシで周知徹底を図りますので、ご理解願います。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○2番（太田英一雲） 新年度の行事計画については例年どおり町の行事の一覧表みたいなそのチラシが配布されていると思うんですけども、今年度を振り返ってみますと、当日中止とか、翌日中止とかっていうその中止、延期になる情報発信があまりにも時間がなさ過ぎるんじゃないかなという感じを受けた行事が少しあったので、そういう行事についても一定の予測を立てて、2日、3日前とか、そういう感じでやっていただければ生産者も、それからそこに参加する町民とか町外の方々も予定が立てやすいんじゃないかと思ったのでお伺いしました。なるべく早い判断で情報を発信していただきたいと思います。

それから代替行事ってば変ですけども、大規模、中規模な行事は今後ともなかなか無理だと思われます。そこで、地域ごととか、物産ごととか、そういう小規模な行事の開催計画はどうなんでしょうか、その辺、よろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 総務部長。

○総務企画課長（太田和泉君） それでは、要旨の2の代替行事等考えているかについて答弁いたします。

先ほどの答弁とも重複しますが、コロナの感染状況を鑑み、中止の際の代替行事等はこれまでどおり検討してまいります。ただ、プログラムによっては代替できない行事等もありますので、今後もコロナウイルス感染症対策の基本的対処方針に沿って、行事等の開催について検討し開催してまいりますのでよろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○2番（太田英一君） 新年度の行事開催計画については、これで終わらせていただきたいと思います。

次の2番目の新たな地場産業関係について、答弁よろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 平山課長。

○産業建設課長（平山寛哉君） おはようございます。産業建設課長の平山です。

質問2の新たな地場産業の育成についてということで、要旨の1について答弁いたします。

近年、漁獲量の減少や価格の低迷など、漁業関係者を取り巻く環境は厳しい状況です。これまでも、漁協主体により、アワビや稚ナマコの等の放流を行ってまいりましたが、資源拡大につながる数量の確保ができていない状況です。町では、価格が安定し、需要が見込まれるナマコの資源拡大を図り、将来にわたる漁獲量、数量の安定と、漁家所得の向上を主眼とした種苗生産施設建設などについて検討するため、今別ナマコ資源拡大検討委員会を設立しました。今年度は、生存率の高い体長30ミリ以上の稚ナマコを購入し、5万個体を放流、来年度は10万個体を交流する予定です。また、県内生産施設の施設では、体長30ミリの稚ナマコ生産が困難のため、今別町に生産施設の拠点整備を計画することで生産技術の構築や、町民の雇用の確立を図りたいと考えています。また、現在、民間企業で運用しているサーモン養殖事業は、昨年度の水揚げが1,000トンを超え旧町立体育館跡地に整備されたサーモン中間養殖場を含め、今後さらなる事業規模拡大が見込まれ、雇用環境や地域経済の活性化につながるものと考えておりますので、ご理解をお願いします。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○2番（太田英一君） 漁業関係のナマコについては、いろんな情報を私も各方面から伺っております。この事業は青森県だけでなく、全国各地でナマコを消費する消費者にとっても、非常に大切な事業だと感じております。これは町単独でなく、町、県、それから漁業関係者並びにひいては消費者も巻き込んだような形で一大産業に築き上げていけるように努力をしていただきたいと思います。

サーモンに関しても、民間業者の事業ですので、行政として、直接ああだこうだということはなかなか言いづらいかもしれませんが、できる範囲内でバックアップ、協力、協調した体制で進めていただきたいと思います。

次に、畜産について答弁よろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 平山課長。

○産業建設課長（平山寛哉君） 続きまして、要旨2について答弁いたします。

平成26年度に今別牛販売促進連絡協議会を発足し、現在は年間7頭屠畜して、道の駅や各種イベント、ふるさと納税返礼品として提供している状況です。

昨年、青森市内で開催されたイベントでは、販売した今別牛が完売するなど、徐々に人気が高まっており、町内で販売している今別牛が売り切れるなど、現在は品薄状況と状態となっています。今後はさらなる安定した供給を目指すため、肥育牛の増頭や繁殖牛の導入など、事業拡大を図るとともに、若い担い手の確保や雇用拡充など、同協議会や今別町和牛飼育組合などと連携しさらなる事業の構築に取り組んでまいりますので、ご理解をお願いします。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○2番（太田英一君） 畜産の今別牛のブランド化については、一定の浸透と支持を得られていると思いますけれども、過去に今別牛というのは繁殖の段階で非常に高い評価を得て牛個体を見なくても、今別の和牛であるというだけで高値で取引された時期もあります。そういう時期に非常に優秀な繁殖牛が数多くおりました。その繁殖牛の質がだんだん低下し、今畜産を経営している方々は過去のすばらしいブランド牛というか、そういうものにもう一度目を向け、新たな今別牛の認知度というか、そういうものを高めていると思います。この努力については称賛をします。しかしながら、生産頭数、子牛の生産もそうですけれども、今別牛として新たなステップを踏むためには一定の生産量が必要になってくると思いますので、その点について飼育業者、肥育者のみでなく、行政とか、販売促進のために商工業の方とか、そういう方々とのさらなる連携が必要ではないかと思います。まずは肥育牛の頭数を増やす方策について、何か考えているのであれば、お伺いしたいと思います。

○議長（本郷良克君） 平山課長。

○産業建設課長（平山寛哉君） 現在の予定ですが、肥育牛、月1頭屠畜、またイベント等への屠畜も考慮し、年間15頭を現在検討して計画しております。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○2番（太田英一君） 分かりました。なるべく生産頭数を増やしていただけるように頑張ってくださいと思います。

次、農業についてですけれども、稲作以外の新規作物についてとか、基盤整備についてのことをよろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 平山課長。

○産業建設課長（平山寛哉君） それでは、要旨の3について答弁いたします。

現在、二股、大川平地区で圃場整備事業に着手しております。中でも二股地区は高収益作物を作付することが事業要件になっておりますが、排水や土壌不良、その他作物ごとの農地整備に係る予算的問題など、現在の作付面積は小規模で行われている状況です。今後は地元圃場整備組合に対し高収益作物の作付を働きかけてまいりますので、ご理解をお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○2番（太田英一君） 農業についてはこれからの一層の努力と飛躍を期待します。

林業についてもちょっと説明をよろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 平山課長。

○産業建設課長（平山寛哉君） 続きまして、要旨の3について、林業について答弁いたします。

平成29年4月に、林業経営管理制度がスタートし、今年度は森林台帳整備を行っています。令和4年度は森林所有者に対して、今後の経営や管理方法について意向調査を行い、所有者が経営及び管理することが困難な場合は、経営管理計画を策定し、町が管理していく計画となっています。意向調査や管理等に伴う経費は、要は森林環境譲与税を充当し計画的に実施してまいりますので、ご理解をお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○2番（太田英一君） 分かりました。私の一般質問の2番目の新たな地場産業の育成云々については、先日3月8日に行政説明会において分散型エネルギー、または道の駅アスクルの関係上、様々な詳細な答弁をいただいておりますので、この辺で終わらせていただきたいと思いますけれども、最後に一言、1分野での事業推進というのは非常に困難だと思いますので、農林水産業を連携して、どれとどれが組み合わせたらどういうふうな形に進んでいくのかということを十分熟考しながら事業の実施に当たっていただきたいと思います。

以上です。

○議長（本郷良克君） 2番太田議員の質問を終わります。

5 番成田精市議員に質問を許します。成田議員。

○5 番（成田精市君） おはようございます。

初めに、ロシア政府がウクライナ国に侵略することにより364名の方が亡くなられました。また、コロナウイルスにより青森県でも3名の方が昨日亡くなられております。今別町では襲月地区で住宅火災があり2名の方が亡くなられております。ここにご冥福を申すとともに、そのご家族や被災された皆様のお悔やみを申すとともに、お見舞い申し上げます。

さて、私からは2問の質問であります。

今別町の児童生徒数の減少に伴う今後の計画についてお尋ねします。

将来の児童生徒の減少及び学級数等については、前回の定例会で他町村とは協議を行っていないとの答弁でしたが、その後、協議を行ったか、お伺いしたいです。また、協議がなされていなければ、その理由をお伺いいたします。また、今後、5年後、10年後の今別町の教育計画はどのように考えているのかお伺いいたします。

2 問目、今別町史の続刊の発刊は予定しているのかお伺いいたします。

元小鹿マサヨシ町長が、教育長時代に今別町史を発行してから54年がたっておりますが、中嶋町長は続刊についてどのような考えを持っているのかお伺いいたします。

以上2問であります。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（中嶋久彰君） 5 番成田精市議員のご質問にお答えをいたします。

議員からは大きくまた2点の質問が出されております。

1 として、今別町の児童生徒数の減少に伴う今後の計画について。

2 として、今別町史の続刊の刊行は予定しているのかについてというご質問でありますので、担当課、教育課より答弁させていただきますので、よろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 佐渡課長。

○教育課長（佐渡慶剛君） よろしくお伺いいたします。

初めに、成田議員に確認したいのですが、要旨の中で協議という言葉がありましたが、12月議会での本間議員の質問では、他町村との意見交換などの取組は行っているかと質問されています。今回の質問も、協議ではなく意見交換という趣旨での答弁とさせていただきます。いいでしょうか。

では、お答えします。

児童生徒及び学級数の減少は全国的な問題であり、12月議会での本間議員の質問では、他町村との意見交換などの取組は行っているのかという質問に、その時点では意見交換というか協議等はありませんとお答えしました。その後、外ヶ浜町の教育委員会と打合せする機会がありましたので、どちらの議会でも一般質問に取り上げられている児童生徒数の減少問題について今後の推移などの情報交換をいたしました。

○議長（本郷良克君） 成田議員。

○5番（成田精市君） ただいまの答弁で意見交換ということでありましたが、その具体的な内容はどういうふうになっているのか、お伺いしてもよろしいでしょうか。

○議長（本郷良克君） 佐渡課長。

○教育課長（佐渡慶剛君） ただいま申し上げましたが、両町の児童生徒数の今後の推移、そのようなものについて意見交換をしました。

○議長（本郷良克君） 成田議員。

○5番（成田精市君） その中でですね、これからの両町といいますか、三厩地区では今年入学する方がゼロと聞いております。1名いたはずですが、今別町への入学、今別町はその人を加えると8名と思われます。そういう面ではまだ今別町は危機的な問題はないと思いますが、これから考えた場合、今別町もやがては5年後、10年後には生徒数が減り、当然頭に浮かぶのは学校統合の課題が上ってくると思われますが、その線はまだ議題としては上がっておりません。

○議長（本郷良克君） 佐渡課長。

○教育課長（佐渡慶剛君） 今の学校統合というのは小中学校の統合ということでしょうか、どういうことでしょうか、ちょっと中身のほうを教えてください。

○議長（本郷良克君） 成田議員。

○5番（成田精市君） 外ヶ浜町と今別町ということになりますけども、外ヶ浜町の三厩地区の三厩小、今別小の統合という話がありますが、そういう話はないですか。

○議長（本郷良克君） 佐渡課長。

○教育課長（佐渡慶剛君） そういうことであれば先ほども申し上げたとおり、児童生徒数の生徒数の推移、そういうものについての協議だけを情報交換を行っております。

○議長（本郷良克君） 成田議員。

○5番（成田精市君） 生徒数の減少は、現今別小学校で今度6年生になられる生徒は2名です。そういう生徒数の減少に鑑みまして、生徒のことを考えるのであれば、これか

ら5年後、10年後、生徒のために先にどうしたらよいか教育委員会のほうで頭に置いてほしいと思います。それもこれもみんな子供たちのための考えであります。何とぞ生徒のためによりよい教育現場を造っておいてほしいと思います。

第1問はこれで終了したいと思います。

○議長（本郷良克君） 佐渡課長。

○教育課長（佐渡慶剛君） 続きまして、質問の2についてお答えいたします。

平成27年頃に、今別町史の続刊を検討し、職員が歴史的資料等の収集を行った経緯があります。しかし、資料の収集並びに調査など専門的な知識を必要とする業務でありましたので困難を極め、最終的には断念した経緯があります。今後、町史の続刊を作成するのであれば、外部の専門家や学芸員などに依頼する必要があり、多くの時間と経費がかかるものと思われます。県内の町村の状況を見ましても、おおよそ1回のみの発刊で、青森市など編さん室を配置している自治体では、続刊を発行しているところもあります。決して続刊を発行しないというわけではありません。今述べた様々な問題が解決されればぜひ発行したいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 成田議員。

○5番（成田精市君） 現在ある今別町史は、昭和42年3月31日の発刊と承知しております。町村合併が64年間の実績を追加補填しなければならないと考えております。町史の内容を検討し、新たに資料収集を進め、欠落部分を明らかにしなければなりません。

また、専門の先生方に依頼することにより、確かに町財政に多大な負担をかけることは免れないと思います。しかしながら、これから今別町の75年間の歩みを振り返り、記録するとともに新町政施行75周年となる2030年令和12年を目指し、町民が地域に対する理解を深め、郷土愛を醸成する基盤とし、さらなる町民との協議のまちづくり、文化の向上に資するために新たに新編今別町史を編さんしてもらえないでしょうかという私のお願いでございます。お願いして、この件に対しては終わらせていただきます。

以上をもちまして2問を終わります。

○議長（本郷良克君） 5番成田議員の質問を終わります。

3番田中哲也議員の質問を許します。田中議員。

○3番（田中哲也君） 3番田中哲也です。改めまして、よろしくお願いいたします。

私からは、大きく分けて質問事項2項であります。

まず1つ目は、町内除排雪について。

要旨として1番、各町内の排雪は、的確に行われたのか伺いたいと思います。

2つ目は、県道二股地区の排雪について、どのような要望を行っているのか伺いたいと思います。

3つ目は、高齢者宅の屋根からの落雪による排雪に対して、町の対応はどのようなになっているのか伺いたいと思います。

4つ目は、町内の雪捨て場は、定めた指定場所があるのか伺いたいと思います。

質問事項2として、歴史的な町内資源を用いた町内観光についてであります。

大開城跡や今別八幡宮の歴史的な調査などはあるのか伺いたいと思います。

以上です。よろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（中嶋久彰君） 3番田中哲也議員のご質問にお答えをいたします。

議員からは、大きく2点の質問が出されております。1として、町内の除排雪について、2として、歴史的な町内資源を用いた町内観光の誘客についてというご質問でございますので、担当課、産業建設課、町民福祉課より答弁させていただきますのでよろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 平山課長。

○産業建設課長（平山寛哉君） よろしくお願いします。

要旨の1、的確に排雪が行われたかということに答弁いたします。

今年度は、昨年度末から断続的に雪が降り続き、積雪が130センチを超えるなど、約10年ぶりの大雪となっています。除排雪作業は、町が直接行っており、町民の生活道路機能を維持するため、道路パトロールを強化するとともに、各町内の積雪状況などに応じて道路の除雪作業を優先的に行いました。

また、町職員の協力を得ながら、昼夜を問わず、除排雪作業を実施したことにより、大きな交通障害もなく、道路の交通環境を確保することができました。

以上です。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○3番（田中哲也君） ありがとうございます。今年は豪雪対策本部も設置され、まれにない豪雪に見舞われました。今答弁にあったように、町職員が夜遅くまで除雪をしているのも、町民、また皆さんがご存じかと思われますが、町職員だけじゃなくて、今の排雪体制だと4トンダンプが3台ぐらいで排雪作業に当たっていると思われます。ですが、

町職員が毎日の業務もあるにもかかわらず夜遅くまで排雪体制にお手伝いをしたりしているのを考えると、業者に対して、大型ダンプ1台でも2台でも手配して、排雪の効率をよくすることを考えていったほうがよりスムーズに排雪体制が行われるんじゃないかと思うんですが、いかがでしょうか。

○議長（本郷良克君） 平山課長。

○産業建設課長（平山寛哉君） 先ほどの質問の再質問ですけれども、町では現在4トンダンプ3台、排雪に伴うロータリー車1台で主な排雪作業を行っております。以前、田中議員からのご指摘あって、ドーザーの購入時に現在保有している規模よりも少し大きい規模で、その際に町有地では大きいのではという様々な質問をいただいております。現在大型ダンプ1台などという提案もございましたが、実際町道の今年のような状況であれば、大型ダンプが入れる町道は限られてきております。特に、住宅地が密集しているところに関しては4トンダンプが適正かと思っております。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○3番（田中哲也君） 4トンダンプ、町内の道路の狭さや雪の多さを考えていくと、4トンダンプが適切なのかなと思いますが、スピード、時間的なことを考えると、大型車のダンプがあっても業者をお願いしてダンプだけでもあっても、その時間が短縮されていくのではないのかなと考えられます。今年はもう大雪が降ることはないと思われますが、来年度以降、またこのような大雪があって、道路の交通障害がある場合はその辺のことも考えながら排雪のほうを進めてというか、お願いしたいなと思います。

○議長（本郷良克君） 平山課長。

○産業建設課長（平山寛哉君） 今年度をいい教訓として来年度以降はこのような状況がある場合は、増台、もしくは委託も考えながら検討すると思います。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○3番（田中哲也君） では、②番をお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 平山課長。

○産業建設課長（平山寛哉君） 続きまして、要旨の2について答弁いたします。

二股地区は、町内一の豪雪地区であり、今年度の最大積雪深は170センチを超えるなど、地域住民の重要路線である県道14号においても降雪により車両の通行に支障が生じたため、東青地域県民局地域整備部や、除排雪委託業者へ早急な対応をお願いいたしましたので、ご理解をお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○3番（田中哲也君） ありがとうございます。県道二股地区のあの14号線、途中までは排雪、道路幅が確保されていますが、途中の住宅街に入ってきた段階だと、排雪作業がうまく進んでいません。あの道というのは、青森方面に向かう、もしくは青森方面からこちらに今別方面に向かうちょうど坂になっていて、見えづらいところなんですよ。そこまで来て、あの道幅だと交通障害はもちろんのこと、緊急車両などの事故にもつながる可能性があると感じました。私だけではなくてあの県道を使っている車の運転手の方からは様々な意見が出ていました。途中までは排雪、除雪されているのにあの住宅街だけはやっぱり危ないと、その辺は県に対してしつこく要望をお願いしたいと思うんですけれども、その辺はいかがですか。

○議長（本郷良克君） 平山課長。

○産業建設課長（平山寛哉君） これまでも何度となく要望はしてまいりましたが、今後もうできる限り何度でも要望をしてまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○3番（田中哲也君） 市内に向かったり、五所川原方面に向かったりする際の幹線道路となっていますので、できるだけ強く強く要望をして、県道でありますので車の通りがスムーズになるよう要望をお願いいたします。

2番については以上です。③をお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 山崎課長。

○町民福祉課長（山崎真直君） よろしくお願いいたします。

私からは要旨の3についてお答えいたします。

高齢者世帯の除雪作業は、現在社会福祉協議会に委託し、主に玄関前の除雪を2人1組の2班体制で行っております。今年は例年にない大雪となったため、軒下の危険な箇所の除雪も行っております。

ご質問の高齢者世帯の屋根からの落雪による排雪につきましては、町が委託している事業とは別に、社会福祉協議会の事業で、在宅高齢者除雪支援事業として各地区の協力員の皆さんに除雪作業をお願いしているところです。今年の大雪で、町民の方から屋根の雪下ろし、落雪の排雪など、問い合わせも多数寄せられました。今後の対応について、社会福祉協議会と協議してまいります。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○3番（田中哲也君）　ありがとうございます。

それでは、再質問です。社協のほうで必要最低限玄関先などをしているのは存じています。今年は雪が多くて、軒下などもやっていると、本当にありがたいと思います。ただ、2人体制というのは、この大雪に対して2人だと相当数のやっぱり依頼があると思うんですけども、人数足りないと思うんです。1日でこなせないのが多いと思います。その辺に対してまた改めてこちらから、町のほうから社協に対して人数を増やしてくださいとか、体制の強化をいたしますとか、そういう相談はしていますか。

○議長（本郷良克君）　山崎課長。

○町民福祉課長（山崎真直君）　今年度の今年の大雪によって1日で実際回れない日が多数ありました。今年の大雪については社会福祉協議会とも話をいたしまして、1日で回れない回数が今年は多くありましたので、そういう人数を増やすことも話はいたしました。ただ、雪の多い年、少ない年というのがやっぱりありますので、そこは慎重に判断していきたいというふうに考えております。

○議長（本郷良克君）　田中議員。

○3番（田中哲也君）　自然相手のことなので、今年は特に多い年だったので、人数増やしたから来年はったら、来年雪が少なかったらまた困るので、その辺は臨機応変に対応をお願いしたいなと思います。

高齢者住宅の屋根の落雪に対してなんですけれども、今別町はやっぱり高齢者率が高く、屋根の雪が、今年みたいに大雪のときは、毎日毎日屋根の雪も投げなければいけないと、社協さんのほうで玄関先の生活最低限の道の確保はありがたいと思うんですけども、屋根の雪まではうちら年いってできないと、何とか町のほうでも考えてもらえないかということを言われました。お金かかってでもいいので、何とか投げてけろという意見もあります。財政厳しい今別町ですけれども、例えば、除雪費用に業者を頼んだら2万円かかったと、町のほうで1万円ぐらいでも負担してもらえないかという意見も出て、私は伺っていました。町長に確認です。例えばそういう今年みたいに豪雪があって、玄関先じゃなくて、屋根の落雪とかに対して町側で例えば業者を入れたときに幾らかでも町が補助してくれるような考えはこれからあるのか、答弁をお願いしたいと思います。

○議長（本郷良克君）　町長。

○町長（中嶋久彰君）　あるのかなのかというと、即答はちょっと避けたいと思います。

ただ、先ほどからご質問があります高齢者宅の除排雪について、多いときには人数を増

やす、少なければカットする、これはなかなかできないことであります。現実問として、今人員を確保するのが非常に困難な状況になっております。募集してもなかなか来てくれない、これが現状であります。そんな中で人数を増やす、じゃあ今年は少ないからカットする、そういうふうなことはこの町の中で募集するということに関してはいかななものかというふうに思っておりますので、ある程度一定した人材の中で作業を進めていかなければいけない、そういうふうに考えております。

それから、助成についてでありますけれども、まだそういう現実がありません。例もありません。そんな中でこれからもしそういう希望が多いようであれば、ますます高齢化になっていきますので、そのときには皆さんとお話し合いながら、しっかりと協議して対策を考えていきたいと思っております。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○3番（田中哲也君） ありがとうございます。その年の雪の量によって人数確保だったり、大変かと思われませんが、私もいろいろな案を持っていますので、その辺は来年度近くなったら、夏以降でもその体制に向けてお話し合いをしていきたいなと思いますので、そのときはよろしくお願いいたします。

3番は以上です。④をお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 平山課長。

○産業建設課長（平山寛哉君） 要旨の4について答弁いたします。

町では各地区ごとに流雪、融雪側溝を整備していることから、個人用の雪捨て場所の指定は行っていないので、ご理解をお願いします。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○3番（田中哲也君） 今年のような大雪の場合、融雪側溝だけでは間に合わなくて、各家庭がトラックに積んで雪を捨てに行きたいけれども、どこに捨てにいけないのかという問い合わせがありました。それを踏まえて、来年度以降でも各地区に雪捨て場があれば、各地区の住民たちがその場に軽トラなりトラックなりで雪を捨てに行くことが可能かと思われませんが、各地区に雪捨て場を設けるとか、そういう考えはないということですか。

○議長（本郷良克君） 平山課長。

○産業建設課長（平山寛哉君） 現在のところ、各地区への雪捨て場の指定場所というのは検討しておりません。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○3番（田中哲也君） 指定場所がないということで、郵便局の裏の漁港に雪を捨てに行っている人もいと伺っています。漁業関係者からは苦情も私のほうに連絡来たりしています。あまり海のほうに雪を投げないでくれと、海水が薄れて魚やあそこにいるものが、もしくは餌を取ってきたのが、海水が薄まって死んじゃうという報告も受けています。なので、ある程度の町で排雪の分は仕方ないと思うんですけれども、例えば二股地区からこっちまで来て投げるとかではなくて、各地区にそういう雪捨て場を設けていただければ、各地区のお願いされている人たちも雪を捨てる場所に困らないと思うんです。排雪溝に関しては玄関前だったたり、そういうところは排雪溝で間に合うかもしれないんですけれども、屋根の雪だったたり、そういうところは間に合わないと思うので、各地区でそういう雪捨て場があれば非常に助かるという声が聞こえています。来年度以降検討をするようお願いして、この4番に関しては終わりたいと思います。

2番目の①をお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 平山課長。

○産業建設課長（平山寛哉君） 質問2の1について答弁をいたします。

町内観光に向けた歴史的資源の調査については、調査費用の精査、また調査後の施設整備等、検討課題が多く、現在調査する考えはございませんので、ご理解をお願いします。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○3番（田中哲也君） 歴史的な調査に関しては、町の単独で行う事業で、お金はかかると思います。でも、歴史的な町内資源というか、この今別町のマップを見ているんですけれども、結構新幹線で来たりなんだとすると、このマップを見ながらレンタルの自転車を借りて回っている人を見かけます。景勝地や歴史や観光施設、ましては今別の祭り荒馬などが載っています。荒馬に関しては土日に曜日を指定したことによって、ここ数年はコロナの関係で行われていませんが、日曜日に日にちじゃなくて曜日に指定した段階で観光客が増えたり、新幹線の乗客が増えたりしています。この荒馬だけではなくて、あとは歴史的なものが載っています。岩屋観音だったり本覚寺だったり、今別八幡宮だったり載っていますけれども、今、ここ去年おとしですね、大平とか、青森のとか、結構バスで来ているのを見かけます。なので、この今別の町の歴史的なものにももっともっと触れていければなと思っています。

昔、民族収蔵庫があったと思うんです。そこにいろいろな今別町の歴史的な資料があったと思われるんですけども、そういう展示などのことは考えているんでしょうか。

○議長（本郷良克君） 佐渡課長。

○教育課長（佐渡慶剛君） よろしく願いいたします。

先日、議員のほうからそういうお話がありましたので、元収蔵庫というのがあったんですけども、そちらからその資料を移動したとされる文化財資料館のほうの現地も確認してきました。そこではそういう町の資料的なものというのは発見できない状況でした。当時使った教科書であるとか、そういうものについては今も展示しております。

以上です。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○3番（田中哲也君） 移動して、大川平の荒馬資料館のほうにあるということなんですけれども、歴史的な資料なので、逆に子供たちが目にするような場所、例えばふれあい文庫だったり、教育委員会の前だったり、そういうところに展示して、子供たちの目に触れる、または町民の目にもっと触れやすいような場所とかに今後展示するとか、そういうことは考えてはいないんですか。

○議長（本郷良克君） 佐渡課長。

○教育課長（佐渡慶剛君） 今いただいた意見のとおり、こちらとしても検討してまいりたいと思います。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○3番（田中哲也君） 子供たちも年々少子化で少なくなってきたのはいます。その中で今別の歴史をやっぱり伝えていければ子供たちの今後の今別町に対しての考えもいろいろ変わってくるかと思われまますので、ぜひとも何とか昔の資料だったり、町の歴史的な財産でありますので、目に触れるような場所への展示をお願いしたいなと思います。

私からは以上です。

○議長（本郷良克君） 3番田中議議員の質問を終わります。

4番小倉潤二議員に質問を許します。

○4番（小倉潤二君） 4番小倉潤二です。よろしくお願いします。

まず初めに、先般2月23日、当町において住宅3棟を全半焼するといった住宅火災が発生し、2人の尊い命が犠牲になりました。ここに、亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、ご家族の方に心よりお悔やみ申します。そして、被災された方々に心よ

りお見舞い申し上げます。また、この火災の消火活動にご尽力された皆様には、心から感謝いたします。それでは、質問に入ります。

私からは、大きく2つの質問をいたします。

まず初めに、デジタル化についてお聞きします。

質問要旨1として、デジタル化の基本計画の進捗状況について伺いたいと思います。2つ目に、この設置方法、管理方法はどのように考えているのかお聞きします。3つ目に、町民に向けたデジタル化に対する情報発信はどのようにしていくか伺います。4つ目に、町民の負担は発生するのか。5つ目に、この事業の完成予定はいつ頃になるのかの5点、お願いします。

2番目に、除排雪について、これに関しては、今田中議員と大体似た質問となりますが、よろしくお願いいたします。

まず、除排雪について。今年の冬は豪雪の年で、町民の方も、職員の方も大変苦労したと思います。お疲れさまでした。でも、最近はやや雪も落ち着いてほっとしているところではありますが、例年より苦情の数も多くあったのは事実です。その理由の1つとして、はっきり言って降った雪に対して除排雪が追いついていない、このことが原因だと思います。そこでお聞きします。この豪雪に対して町で取られた対策を聞きいたします。2つ目として、今後の除排雪体制についてお聞きします。

以上、よろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（中嶋久彰君） 4番小倉潤二議員のご質問にお答えをいたします。

議員からは大きく2点の質問が出されております。

1として、町で計画しているデジタル化について。

2として、除排雪作業についてというご質問ですが、担当課、総務企画課、産業建設課より答弁させていただきますので、よろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 総務課長。

○総務企画課長（太田和泉君） よろしく申し上げます。

4番小倉議員からのご質問1、町で計画しているデジタル化についての要旨の1、デジタル化の基本計画の進捗状況について答弁いたします。

デジタル化の計画は、自治体デジタルトランスフォーメーション、いわゆるDXの推進計画になりますが、計画内容は、主に推進体制の構築として組織体制の整備やデジタ

ル人材の確保、育成など、取組事項として自治体の情報システムの標準化や共通化、行政手続のオンライン化、自治体のＡＩやＲＰＡの利用促進等についての計画となります。

当町においては来年度、前期計画を策定しますので、ご理解とご協力をお願いします。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○４番（小倉潤二君） あまり難しくて、言葉が難しくて分からないんですけども、昨年９月に国ではデジタル庁という省庁を設置しました。令和７年頃を予定、実現を目指していますが、町として県と国の協議体制はどうなっているのか、具体的にはどの辺まで進んでいるのかお聞きします。

○議長（本郷良克君） 総務課長。

○総務企画課長（太田和泉君） 現在は、国や県によるデジタル化に向けたオンラインによる説明会等に既に参加しております。そういった中で情報共有をしているところでございます。また、議員のおっしゃられたとおり、令和７年度までの整備を現在目指して、先ほども答弁しましたが令和４年度に計画を策定予定なので、今後は計画に沿って取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○４番（小倉潤二君） 分かりました。デジタル化については大変奥の深い大変な作業になると思います。まず職員一人一人協力しながら、スピード感を持って頑張っていただきたいと思います。

質問要旨２のほうをお願いします。

○議長（本郷良克君） 総務課長。

○総務企画課長（太田和泉君） それでは、要旨の２、設置方法、管理方法はどのように考えているのかについて答弁いたします。

こちら設置といいますか、古い既存のシステムを最新のデジタル技術へ変革し、情報システムの標準化、共通化や行政手続のオンライン化等には、各種整備が必要となります。管理といたしまして、昨年１０月１日付で設置いたしましたデジタル化推進準備室がデジタル化に向けた整備に係る国、県の動向を反映するような適時情報収集に努めておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○４番（小倉潤二君） ありがとうございます。技術的な作業になると思います。まずそのための技術者が必要となってきますが、人材の確保はできているのか。人数的にはど

のくらい的人数でこのデジタル化に向けた作業を行うのかをお願いします。

○議長（本郷良克君） 総務課長。

○総務企画課長（太田和泉君） まず、デジタル化に向けては推進体制の構築に努めなければなりません。そういった中でどれくらいの人材が必要なのか、そういう課題が出てくると思うんですけども、まずは推進の体制の構築を先行してやらなければならないと思っています。そのためにも昨年10月1日にデジタル化推進準備室を立ち上げました。令和4年度から本格的にデジタル化に向けて取り組んでまいりますので、ご理解とご協力のほうをよろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○4番（小倉潤二君） 分かりました。頑張っていたきたいと思います。

次に、要旨3の質問をお願いします。

○議長（本郷良克君） 総務課長。

○総務企画課長（太田和泉君） それでは、要旨の3、町民に向けたデジタル化に対する情報発信はどのようにしていくのかについて答弁いたします。

先ほど答弁いたしましたDX推進計画の前期計画策定後には、その計画を広報紙や町ホームページで公表し、その後もデジタル化に向けた取組事項等について町民の皆様に情報発信してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○4番（小倉潤二君） 私も含めて町民の方にはデジタル化とは何なのか理解できていません。町民に対してその段階で、段階というよりもうその準備整っている時点で町民になるべく早い段階で情報発信をして、理解を深めていただきたいと思います、いかがでしょう。

○議長（本郷良克君） 総務課長。

○総務企画課長（太田和泉君） 先ほども答弁いたしましたが、デジタル化の推進計画の公表や今後の取組事項等は広報紙等で町民の皆様に情報提供をしてまいりたいと思います。ただ、デジタル化といっても、いろいろな分野に関わるものですので、より詳しい情報等については、各担当から個々に情報提供されるものと思われまますので、よろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○4番（小倉潤二君） 大変な作業の中ではありますが、回数を重ねながら早め早めの情

報提供を町民に対して、情報提供をお願いいたします。

次に、質問要旨の4をお願いします。

○議長（本郷良克君） 総務課長。

○総務企画課長（太田和泉君） それでは、要旨の4、町民の負担は発生するのかについて答弁いたします。

D X推進計画の取組事業で整備するものによっては、利用料やランニングコスト等で町民の負担は考えられますが、可能な限り負担が発生しないように検討してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○4番（小倉潤二君） 分かりました。万が一、町民の負担が発生するようでしたら、極力ゼロ負担に抑えていただきたいと思います。

そして、この事業にかかる総事業費、まず見込みでいいんですけれども、どのくらいになるか。

あと、現在使用しているテレビ等は使用できるのか、お聞きします。

○議長（本郷良克君） 総務課長。

○総務企画課長（太田和泉君） まだ具体の取組事業はありませんが、例えば今小倉議員おっしゃいましたとおり、例えばテレビで行政情報を確認できるようにした場合、回線使用料等の負担は考えられます。整備するために町民の直接負担はないものと考えております。

また、総事業費等についても今後どういった事業をやるかによって、またその事業を町で整備しなければならない事業費等は出てくると思うんですけれども、そういったところまでまだ至っておりませんので、そういった場合はまた予算等を計上して、議員の皆様にご確認していただく形になりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○4番（小倉潤二君） 分かりました。

次に、要旨5の質問をお願いします。

○議長（本郷良克君） 総務課長。

○総務企画課長（太田和泉君） それでは、要旨の5、この事業の完成予定はいつについて答弁いたします。

デジタル化は事業というより業務効率化や多様な働き方の実現、また、地域住民の利

便性向上を目的としたのがデジタル化で、それをデジタル化を実現すべく行政システムの標準化、ガバメントクラウドへの移行や、オンライン化行政情報発信環境の構築等の取組となります。現在、国の指示により、先ほど小倉議員もおっしゃりましたが、令和7年度末までの整備完了を目指しているところでございますので、ご理解とご協力のほうをお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○4番（小倉潤二君） このデジタル化には本当に期待感があります。ただ、本当に活用までたどり着くという不安もあります。時間も日数もかかると思いますが、早めの完成を期待しています。

最後になりますが、私も含めてなんですけれども、デジタルとは何か、大部分の町民から質問等を受けるんですけれども、私も説明できないもので、できればアナログとデジタルを比較して詳しい説明できましたら、お願いします。

○議長（本郷良克君） 総務課長。

○総務企画課長（太田和泉君） 最近よく聞くこのデジタル化であります、アナログをデジタルというものにすると意味が違うものであって、デジタル化とはちょっと難しくなるんですけれども、ICTなどのデジタル技術を活用することで、業務プロセスの効率化を図ったり、新たな行政サービスやビジネスモデルを実現することを意味しております。仕事を効率よくするためにデジタル化することになるんですけれども、また、行政のデジタル化の場合は、今までは各自治体がそれぞれの仕様で整備しておりましたが、行政システムを国が定めた標準仕様に合わせたものを導入していく情報システムの標準化やマイナンバー等を活用して行政手続をオンライン化を進めることや、また業務の見直しを契機としたAIやRPAを導入、活用したり、またテレワークを導入していく、活用していくことなどになります。

また、ICT技術を活用しての誰一人取り残さない人に優しいデジタル化の一環として町では、新たな情報発信手段について検討を進めているところでございます。

また、デジタル化は既に始まっております。身近なところではマイナンバーカードもデジタル化の1つでございます。ICチップを利用してオンライン上で本人証明等ができるので、デジタル社会には必要なツールとなっております。

このように日々、いろいろな分野でデジタル社会に向けて整備されており、町でも柔軟に対応できるよう情報収集に努め、今後必要なシステム整備等に取り組んでまいりま

すので、よろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○4番（小倉潤二君） ありがとうございました。やっぱり難しいですね。簡単に言うと、アナログとは、あのここにあるのではあの時計のことを言うんでしょうか。

○議長（本郷良克君） 総務課長。

○総務企画課長（太田和泉君） 針を使うものはアナログになるんですけれども、先ほども言いましたけれども、デジタル化というのは今まで紙で例えば申請していたものとか、オンライン上で申請できるとか、紙をまず使わないとか、簡単に言えばそうなるんですけれども、ですので、マイナンバーカードを使うと、各種申請に必要な身分証明とかもそれ1つで対応できるとか、そういったものがデジタル化になります。あとそれだけでなく、これから各事務事業もデジタル化を進めるに当たって効率よいその作業をするために先ほども出ていますけれども、RPAとか、そういったものを導入して効率よいその作業を進めていくというのがデジタル化になりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○4番（小倉潤二君） ありがとうございました。大変な作業になると思います。皆さん、情報を共有しながらそのデジタル化の事業を頑張ってほしいと思います。

次に、除排雪について1つ目の質問をお願いします。

○議長（本郷良克君） 総務課長。

○総務企画課長（太田和泉君） それでは、質問2の除排雪について、要旨の1といたしまして豪雪に対して取られた対策ということについて答弁いたします。

当町においては、年明けからの大雪により、今冬最深積雪は138センチを記録し、令和4年1月18日付で今別町豪雪対策本部を設置したところでございます。主な取組といたしまして、町内の積雪状況等の情報収集、連絡体制の強化、道路、交通を確保するため、幹線道路等の除排雪の強化、町民からの相談等へ対応する除排雪パトロールの強化、屋根の雪下ろし等の事故防止などの注意喚起に努めてまいりましたので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○4番（小倉潤二君） ありがとうございました。今年の大雪については、本当に皆さんご苦労さまでした。土日祝日も、そして時間外も作業をしているのは私も重々分かって

おります。それでも雪による苦情は昨年の上倍以上です。私にきたところでももうその3倍以上になっています。そこで、皆さんに真剣に考えていただきたいのは、除排雪が何で必要なのかということです。先ほどの答弁でもありましたけれども、今の世の中は車社会になっております。緊急車両はもちろんのこと、町民が病院に行く、買物に行くなどの全てのために必要な生活道路を確保するためです。しかし、残念ながら今年の場合はそれができていなかった。それが現実だと思います。

先ほどの田中議員と同じ質問なんですけれども、今年のような大雪の場合、各地区への排雪移動を早くするために、現在4トンダンプ3台で行われていますね、そのダンプ、大型ダンプと掛け合わせるという一番荷物も多く積めるし、4トントラックの3倍以上積めるんですよ、4トンダンプの今3台で走っているとしたら1台大型ダンプを頼めば、それでも4トンダンプの分積めるんですよ。そうすると、各地区の排雪に行く時間が短縮できるんですよ。その辺、いかがお考えでしょうか。

○議長（本郷良克君） 平山課長。

○産業建設課長（平山寛哉君） 排雪の時間の短縮につきましては、先ほども答弁で一部申し上げましたが、やはり町道、例えば大川平から村元まで抜ける村元大川平線、あのような広く、民家がないような道路であれば例えば10トンダンプを活用した排雪も検討されるかと思います。ただし、今小倉議員が申されました残念ながら排雪の体制が整っていなかったというようなご質問でしたが、私の中にはそのような道路に関しては通行止めになったというような屋根の雪が落ちて、一時通れないという時期もありましたが、それなりに排雪は行ったものと思っております。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○4番（小倉潤二君） 私のところには、たしかあれ、2月の初めだったと思いますけれども、緊急車両、要は救急車ですよ、救急車が出動したときに、車同士のすれ違いができなくなって、救急車両が迂回したという話も聞いています。救急車両を迂回させるということはもう1分1秒を争う患者さんが待っているんですよ、何で救急車両が迂回しなければ駄目なのか、やはり道幅が狭くて、右左から来る車がすれ違いができなかった。この辺、そうですね、今年も豪雪により対策本部を設置したんですけれども、各関係団体とのお互い協力体制を取る必要があると思いますけれども、その辺、いかがお考えでしょうか。

○議長（本郷良克君） 平山課長。

○産業建設課長（平山寛哉君） 除雪に関しては、各工区委託業務を行っております。その際に委託業者をお願いしているのは、当然今別町、例えば大川平、二股で雪が降った場合、当然全町に降る可能性が高いわけであって、除雪に出た際は、そういったできる限り道路は広げる、もしくはそれが難しい場合は、一部交差できるようなことをお願いはしている状況でございます。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○4番（小倉潤二君） 分かりました。狭くなっている生活道路に関しては、極力道幅の確保に努めていただきたいと思います。

それでは、質問要旨の2をお願いします。

○議長（本郷良克君） 平山課長。

○産業建設課長（平山寛哉君） それでは、要旨の2について答弁いたします。

現在の除排雪業務は、除雪業務を3工区に区分けをして、町内業者へ委託を行っております。また、排雪及び一部除雪作業については、町が直営で行っています。現在の体制は除排雪費用の軽減を図るため、平成18年度より排雪業務を直営で行っておりますが、今後も除排雪費用の軽減を含め、町民への迅速な対応などに取り組んでまいりますので、ご理解をお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○4番（小倉潤二君） 本当に今年は雪が多かったんです。それで海岸方面なんですよ。海岸方面には融雪溝というものはありません。今年の雪の場合、除雪していくと壁になってしまったんですよ、道路の脇が。今まで空き地に捨てていたものがその壁になってしまったおかげで雪を捨てることができなくなっちゃったんです。道路に投げるしかない、置くしかない、道幅もまた当然狭くなってしまいました。これまでの除雪では、たまには空き地を利用して、その空き地を押してくれた除雪車もいたそうです。今年の場合はそれが全然されていなかった。私が言いたいのは、たまにはその空き地を利用した雪捨て場を除雪していただきたいという町民からの要望が大変多くありました。

と同時に、先ほど田中哲也議員も言ったんですけれども、車で投げる、捨てに行く人のために各地区にやはり1つや2つぐらいは雪を捨てる場所を確保していただきたい。

いかがでしょうか。

○議長（本郷良克君） 平山課長。

○産業建設課長（平山寛哉君） ただいまの質問ですけれども、まず1つ、海岸方面、確

かに今年度、昨年、ここ数年雪が多く、特に国道280号、町道も含め除雪にはいろいろ困っている状況もございました。その請負業者、県、国の請負業者、町の除雪請負業者とも連携を図りながらその辺は今後対応していきたいと思っております。

雪捨て場に関しては、町にもすみません。私の認識している限りは、二、三件ほど問合せはございました。こちらで答えられたのは、各地区の押し場、要はショベル、重機での押し場に一時捨ててくださいということで、ただし危険がないようにお願いしますということではお願いしました。ただ、今後、そういった場所を指定してやるということもありますが、特に海岸方面は町有地が近くにないので、その辺も含めて今後検討していきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○4番（小倉潤二君） ありがとうございます。各地域、地区、区長さんでも地区の人でも町有地にも、私有地にでも押してもいいという人がおります。ですから、その辺うまく来年度除雪に入る前に、区長さんとも話をしながらその場所を確認して、除雪の関係者と話し合いもしていただいて、空き地を利用した除雪もお願いしたいなと思っておりますので、その辺、よろしくお願いいたします。

以上で私の質問を終わります。

○議長（本郷良克君） 4番小倉議員の質問を終わります。

暫時休憩します。開会は1時5分からとします。

午前11時40分 休憩

午後 1時03分 再開

○議長（本郷良克君） 休憩を解いて会議を再開します。

1番本間闘士議員に質問を許します。本間議員。

○1番（本間闘士君） 1番本間闘士です。本日最後の一般質問になりますが、最後までお付き合いよろしくお願いいたします。

それでは、通告に従いまして私から大きく3点質問をいたします。

まず、今別町のホームページについてであります。

近年、各自治体におけるホームページの役割は広報媒体として町の政策や手続、最新の行政情報などを知る方法の1つとして町民はもとより、町外の方にも広く利用されていることかと思えます。そんな中、私のもとに町のホームページに載っている情報が古

くないか、管理はどうなっているのかという問い合わせがありました。実際に私もホームページを閲覧したところ、事例として挙げますと、議会だよりに関して、2021年2月4日発行の第206号から掲載されていない、また、公共工事情報は、行政情報をクリックした際に開かれるページには、令和2年度、3年度今別公共工事業者一覧となっているのに対し、議会のページからリンクされているページを開くと、平成26年度、27年度今別町公共工事業者一覧と記載されているページが出てくることがあります。

現在は、コロナ禍ということもあり、コロナに関する情報など、優先的に伝えなければいけない情報に関しては、速やかに情報を掲載されているかとは思いますが、巢籠もり需要等を勘案し、これまで以上にホームページを利用される方が多くなることを想定いたしますと、ホームページに掲載されている情報は定期的な更新や、見直し、削除や追加などの業務が必要になってくると私は思います。そこで、質問です。1つ目は、町ホームページの更新頻度について伺う。2つ目は、掲載されている情報は定期的に内容を確認しているのか伺います。

次に、青函トンネル広場についてであります。

青函トンネル広場は、青函トンネルの入り口に設置されている当町の観光名所の1つであり、県外から訪れる観光客、町民の皆様の憩いの場として広く利用されている場所です。また、一部の愛好家の方々から、北海道新幹線の写真撮影をする場所として非常に高く評価されている場所でもあります。去年は、私も家族を連れて何度か訪れておりますが、展望台横の芝生で子供たちと遊んでいるときに、ふと気づいた点がありました。それは、ごみなどが全然落ちておらず、非常にきれいに保たれているというところです。子供たちが当たり前のように、芝生の上をごろごろ転がっておりましたが、管理の行き届いていない場所ですと、空き缶やガラスの破片など、ごみが散乱していたりするものですが、青函トンネル広場はそれがありませんでした。行政側でももちろん芝生の刈り込みなど、定期的な管理はされているものと思いますが、不定期に捨てられるごみの清掃などには、地元住民の協力もあって、清潔に保たれている部分もあるのではと私は思っておりますが、実際の管理はどのようなになっているのでしょうか。そこで質問です。青函トンネル広場の管理は、どのように行われているのか伺います。

最後に、町が管理している施設についてです。

現在、町が管理しているトイレの中で、利用を停止している場所が幾つか見受けられます。1つの例として挙げますと、山崎地区にあります公衆トイレは、町民の皆様もよ

く利用する道路に附帯しており、急な腹痛や尿意を催したときには非常に助かったと伺っております。また、夏場の海水浴シーズンでは、山崎地区で海水浴を楽しまれる帰省者や地元の方も多く利用されていたとの声も聞いております。また、海水浴シーズンの公衆トイレというのは、更衣室代わりに利用される側面もあります。冬季の間であれば、利用回数が少なかったり、天候的な条件が重なると水道管が凍結するおそれがあるため、閉鎖するという流れは以前に質問している経緯もあり、理解できるのですが、山崎地区の公衆トイレに関しては、昨年の夏季間も閉鎖しておったと認識しております。一例として山崎地区のトイレを挙げましたが、このように現在利用を停止している公衆トイレを当町は、今後どのように管理していくおつもりでしょうか。当町の考えを伺います。

以上３点になります。どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（中嶋久彰君） １番本間闘士議員のご質問にお答えをいたします。

議員からは大きく３点の質問が出されております。

１として、今別町のホームページについて、２として、青函トンネル入り口広場について、３として、町が管理している施設についてというご質問でございますが、担当課、総務企画課、産業建設課より答弁させていただきますので、よろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 総務課長。

○総務企画課長（太田和泉君） よろしく申し上げます。

１番本間闘士議員からのご質問１、今別の町のホームページについての要旨の１、町ホームページの更新頻度について答弁いたします。

更新の頻度の前に、現在の更新環境についてですが、ホームページを理解し、技術の分かる職員が更新の担当となって、各部署からの掲載や更新依頼に応じて、他の業務を持ちながら更新作業を行っているという体制になっております。更新頻度の基準や更新日等は特段設けてはおりません。各部署からの依頼の件数によってその頻度も変わります。今後は、ユーザーにとって有益な情報を適切なタイミングで更新されるように、各部署でホームページの更新作業ができるような体制づくりに努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○１番（本間闘士君） 町ホームページの更新頻度についての回答でございましたが、見

る側にすれば、町ホームページに載っている情報は最新の情報であってほしいし、もちろん掲載されるスピードは早ければ、早いほどよいと考えられます。現在の更新頻度はいろいろな事情を勘案したとしても、適切かどうか、当町の考えを伺います。

○議長（本郷良克君） 総務課長。

○総務企画課長（太田和泉君） 先ほど本間議員からもありましたけれども、コロナ関連の早急に町民の皆さんに周知しなければならない情報、また町の行事等開催の中止等とか、そういった早く教えなければならない、周知しなければならない情報についてはその都度更新しております。ただ、どうしても過去に残っている情報等については、全部全部確認できないものですから、やはり今の現在の体制ですと担当からこれを更新してほしいとか、これをアップしてほしいとか、そういう情報があれば担当者が更新している状況になっておりますので、ただし、どうしても早く周知しなければならない情報については、そのタイミングですぐに周知していると認識しているところでございます。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○1番（本間闘士君） 現在の状況ですと、今は手いっぱいというような回答でございましたが、確かに通常の業務を抱えながら、インターネットを駆使してホームページを更新するというのは、やはり難しいことかと思えます。デジタル化推進室も設置されたことですし、その業務をデジタル化推進室に兼ねて業務を回すというのはいかななものでしょうか。

○議長（本郷良克君） 総務課長。

○総務企画課長（太田和泉君） 先ほども答弁しましたけれども、デジタル化が一括でホームページを更新するというのは非常にタイトなものでありますので、ボリュームもあります。ですので、やはりまずは更新体制をきちんと整備しなければならないというのがあります。ですので、各課で更新できるような、まずそういった体制づくりをしなければならぬのかなと思っております。それで常に最新の情報を各課からアップできるような体制をしてほしいなと思っております。ホームページの全体的な管理については、デジタル化推進準備室で担当になるのか、広報を持っていますので、総務企画課で持つのか、その辺は今後検討になると思います。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○1番（本間闘士君） 町のホームページの更新頻度に関しては分かりました。先ほども

申し上げましたが、やはり最新の情報がすぐ載るとというのが理想だと思いますので、それに努めていただきたいと思います。

次に、2 番の回答をお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 総務課長。

○総務企画課長（太田和泉君） 要旨の2の掲載されている情報は定期的に内容を確認しているのかについて答弁させていただきます。

先ほどの更新頻度についてでも答弁いたしました。各部署からの依頼により担当の職員が更新作業を行っていますので、ホームページ内の内容につきましても各部署で行い、その依頼があった内容のみを更新している状況にあります。

ご質問の定期的な内容確認については、現在行っておりませんので、中には先ほど本間議員からもありましたけれども、古い情報が掲載されたままになっていることもあります。内容更新もそうですが、確認についても各部署でホームページの更新作業ができればより精度のよい内容確認になりますので、今後ホームページ更新等に係る体制づくりに努めてまいりますので、ご理解とご協力のほうをよろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○1 番（本間闘士君） 掲載されている情報の内容の確認に関してですが、入札に関する情報等は関係者や町民の皆様もよく閲覧すると伺っております。入札に関するページは重要度も高いと考えられるため、毎月定期的に情報を更新するべきと考えますが、当町の考えを伺います。

○議長（本郷良克君） 総務課長。

○総務企画課長（太田和泉君） 入札に関しては、ご指摘もあったので、新聞等でご存じだと思いますけれども、情報が開示されていないというのがありましたので、それ以降はすぐ入札後にはホームページのほうに掲載しております。

また、ちょっとついでになりますけれども、先ほどリンクの話があったんですけれども、それをやはりリンクの貼り付けがうまくいっていない、個々にリンクを貼り付けしますので、ですので、議会からその工事のほうのリンクがきちんと更新されていないものと思われしますが、よろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○1 番（本間闘士君） 入札に関しては、随時更新しているということで安心いたしました。

先ほどリンクの貼り付けの部分をお話ししましたが、これも一つ一つ手作業になって、確かに非常に面倒くさいです。1つ設定を間違えると、そのページしか表示されないというのも十分分かりますので、そういった部分を整理する時間もやはり必要かなと私は思います。

ホームページ内にアクセス解析というページがあります。これは自分たちのサイトがどのようなルートをたどってページを移動されているか、サイトに訪れた人数等を把握し、どの程度クリックされたかなど、目で見える数字や、解析された情報を基に、よりよいサイトにするための分析をするためのツールとして活用されているのが一般的だと思いますが、当町ではこのアクセス解析を現在どのように活用されているのか伺います。

○議長（本郷良克君） 総務課長。

○総務企画課長（太田和泉君） 現在、当町のホームページにおいては、そのシステムは導入しておりません。やっております。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○1番（本間闘士君） アクセス解析のページは、じゃあ存在しないということでしょうか。

○議長（本郷良克君） 総務課長。

○総務企画課長（太田和泉君） 現在行っておりませんので、今後検討して、いろいろホームページのほうの更新等につなげてきたいと思っております。よろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○1番（本間闘士君） 分かりました。タブの中に一応あったものですから、質問させていただきましたが、ないのであれば、これ以上質問することはありませんので、次に進みたいと思います。

青函トンネル広場の管理についての回答をお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 平山課長。

○産業建設課長（平山寛哉君） よろしく申し上げます。

それでは、青函トンネル広場の管理について答弁させていただきます。

青函トンネル広場につきましては、公園管理業務委託を行っている業者が定期的に除草作業などを行い、公園内のトイレ施設については、町任用職員がシーズン終了まで清掃業務を行っている状況です。

また、大型連休など、観光客が多くなる期間は、担当課職員も当番制で清掃業務を行

っておりますのでご理解をお願いします。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○1番（本間闘士君） 青函トンネル広場には、当町のパンフレットなどが掲示板に貼られております。こちらのほうは色あせており、非常に古いような感じが出てしまっているんですが、こちらのほうを定期的に貼り替えるなどの管理はされているでしょうか。

○議長（本郷良克君） 平山課長。

○産業建設課長（平山寛哉君） 定期的には行っていないんですが、状況に応じて実施しております。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○1番（本間闘士君） 直近で行われた貼り替えの作業はいつでしょうか。

○議長（本郷良克君） 平山課長。

○産業建設課長（平山寛哉君） 明確な時期は今すみません。ちょっと分かりませんが、昨年度の雪降る前には一度確認等をして、パンフレットが新しくなったり、その辺が更新するものであれば更新しております。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○1番（本間闘士君） 昨年度、東北新幹線のイベントで旗振りをしにトンネル広場のほうに行きました。そのときに、ちょっと古いなという感じを抱いておったのですが、あそこは観光客も非常に多く訪れております。コロナ禍ということもあって、室内の観光施設はやはり減少しておりますので、屋外の観光名所に足を運ぶ観光客が多いので、そういった点も注意しながら管理していただきたいなと思ってこの質問をいたしました。下のほうの管理に関しては分かったんですが、上の芝生のほう、例えばごみを拾ったりというのは管理されているのでしょうか。

○議長（本郷良克君） 平山課長。

○産業建設課長（平山寛哉君） 公園全体そのものは草の除去に関しては定期的というか毎日行っておりませんが、トイレ掃除等は平日毎日行っておりますので、その際にごみ等、目立つようなものがあれば回収するというようなことで行っております。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○1番（本間闘士君） 分かりました。ゴミを拾ったり、掲示板を入れ替えたりというのは行政の管理の中においてなかなか手の届かない部分なのかなと私は感じていました。冬季間以外の管理業務を委託して、地域の住民にお願いするとか、そういう管理方法も

あるのかなというふうに私は思っておりますが、それに関して当町の考えを伺います。

○議長（本郷良克君） 平山課長。

○産業建設課長（平山寛哉君） 今のトンネル広場に限ってのあれですが、町では公園含め、トイレ含めて、結構数があります。その中でも以前は町内とかにお願いはした経緯はあるんですが、逆に町内のほうから管理が難しいなどというそういったお願い、こちらで管理をできないかというようなことも経緯もありまして、今現在の状況で管理している状況です。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○1番（本間闘士君） 分かりました。こちらは1つの案ですので、今後もまた同じような状況でずっと行けるかもしれないし、行けないかもしれませんので、その都度臨機応変に対応していただきたいと思います。

次に、3番の1、町が管理しているトイレで現在利用を停止している箇所の今後の利用について答弁をお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 平山課長。

○産業建設課長（平山寛哉君） それでは、答弁いたします。

現在利用を停止しているトイレは4か所であります。いずれも県が整備をして、管理を町で行っている施設となります。綱不知地区、砂ヶ森地区砂防公園及び関口川砂防公園に設置しているトイレは、施設の維持や動物による被害など、現在利用を停止しております。山崎地区海岸沿いのトイレは、便器等の破損により利用できない状況のため、現在県へ修繕をお願いしておりますので、ご理解をお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○1番（本間闘士君） ありがとうございます。質問させていただいた山崎地区の公衆トイレに関しては、地元住民の方の要望もあり、できるだけ早く利用できる状態にしたいと思っています。

これまで質問させていただきました内容は、昨年コロナ禍の真ただ中ではありましたが、町内にある観光施設、特に鑄釜崎、高野崎キャンプ場、青函トンネル広場などの屋外施設では、例年と変わらない、もしくは若干多く利用されている実績があります。青函トンネル広場や公衆トイレの整備は、当町の観光資産の価値を向上させますし、ホームページの整備は、町民の皆様も利便性はもちろんそれ以外の当町ホームページを訪れる利用者のためになると私は思います。今ある資産をより昇華させながら、これから

も当町の観光に注力していただきたいという私の思いをお伝えいたしまして、質問を終わらせていただきます。

ありがとうございました。

○議長（本郷良克君） 1 番本間議員の質問を終わります。

これをもって一般質問を終了いたします。

本日はこれをもって散会いたします。

午後 1 時 2 8 分 散会